

女性活躍を推進するための生理用品設備設置と コミュニケーションをデザインする教育事業

2023. 2. 17



LAQDA
PROJECT

Powered by わたしの暮らし研究所株式会社

〒104-0061 東京都中央区銀座 1-22-11 銀座大竹レジデンス 2F

2F Ginza Otake Residence, 1-22-11 Ginza, Chuo-ku, Tokyo 104-0061



実施事項一覧：

実施事項	サービス 購入者	ユーザ	実績
1. ヘルスリテラシーを上げ、当事者と同僚、管理職のコミュニケーションを活性化させる女性活躍推進セミナー	企業	・従業員（男女問わず） ・管理職 ・生理用品設備設置導入者	・参加者数：446名 ・回答者数：201名
2. 生理用品をはじめとするトイレの必要物品導入の設備設置コンサルティング・調査・分析サービス	企業	・従業員（男女問わず） ・管理職 ・生理用品設備設置導入者	・参加者数：約3000名（男女合計） ・回答者数：613名（一次回答数）
3. 生理用品導入企業コミュニティ運営	企業	企業内生理用品設置担当者（人事・総務および有志）	29社 約60名 10月、11月、12月、1月、2月イベント実施。 3月に北大COI&NEXT、慶応義塾大学COI-NEXTとシンポジウム実施。
4. 青少年教育で活用できる教育ツール作成	教育機関	・小学生 ・中学生 ・高校生 ・大学生	・北大COI&NEXTチームと、「言いづらい」について向き合う絵本を制作。 ・躯体を提供し、青少年教育現場で展開



「言いつらい」個人の悩みを 社会みんなで考える

課題



働く中で、**身体についての「言いづらい」**ことを

- ・ 話す必要がある状況でも**コミュニケーションできない**
- ・ 男女間/男性間/女性間でも、**口火を切れない**
- ・ 上司/部下/同僚の間でも、**話せない**





働く中で、身体についての「言いづらい」ことを

- ・ 話す必要がある状況でも **コミュニケーションできない**
- ・ 男女間/男性間/女性間でも、**口火を切れない**
- ・ 上司/部下/同僚の間でも、**話せない**

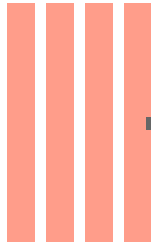


ステップの第一歩は、「きっかけ」づくり

「きっかけ」づくりは「両輪」で



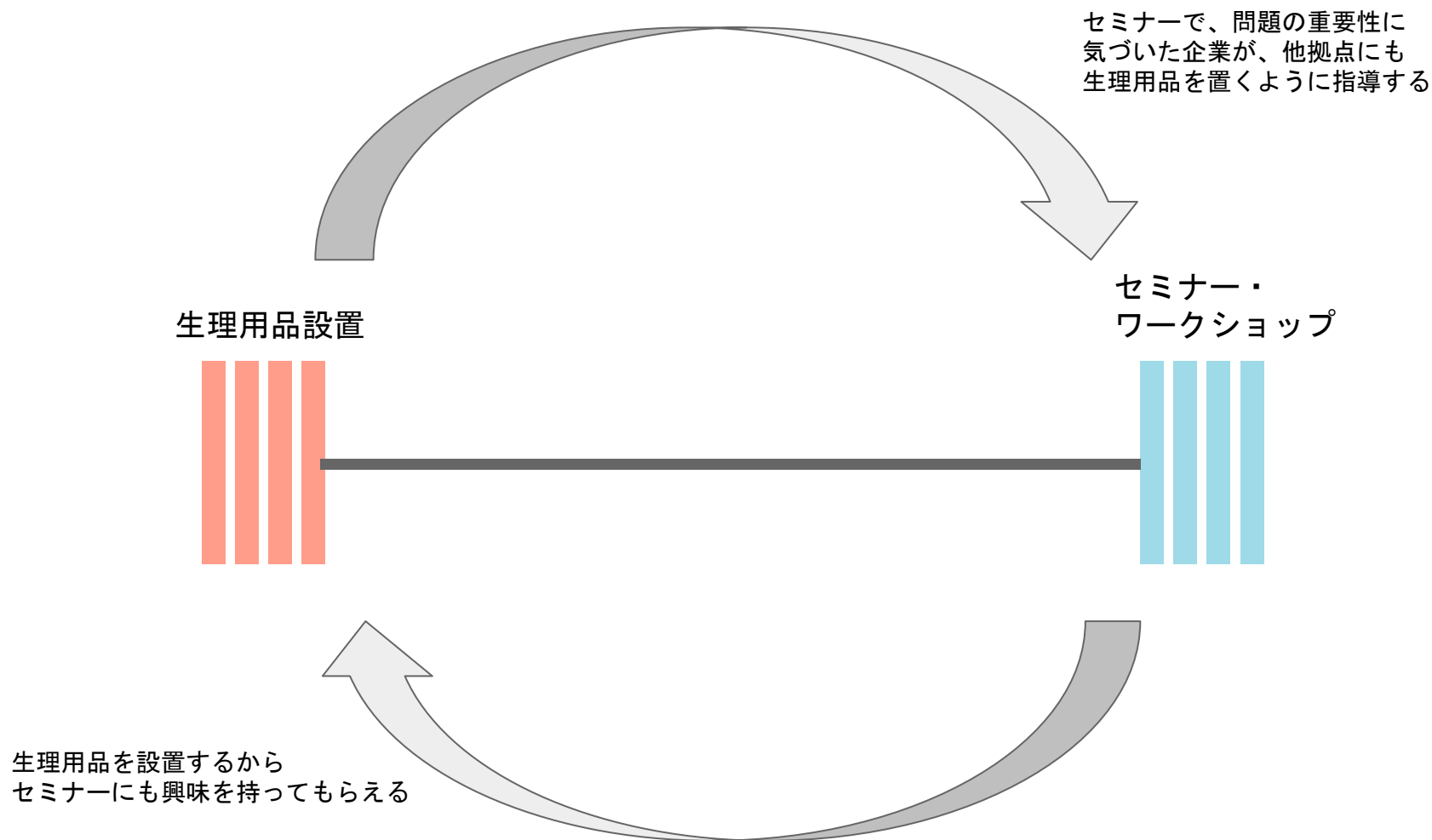
生理用品設置



セミナー・
ワークショップ



「きっかけ」づくりは「両輪」で



生理用品設置

- ・ 男女トイレに設置。
- ・ 基本的に個室外。
(トイレによっては個室)
- ・ **ビルNG**のために
執務室に置く企業も。



(写真上) 東急本社

(写真中) GENDAグループ

(写真下) プラザクリエイト

社内セミナー実施

▼プラザクリエイト

オンライン開催

▼東急（東京建物さまゲスト）

オンライン開催

▼GENDAグループ

ハイブリッド開催

▼小林製薬グループ

オンライン開催

▼東急 x 東京建物 x 三井不動産

オンライン開催

▼エムスタイルジャパン

オンライン開催

★セミナー成功の秘訣★

- ・ 企業文化に合わせる。
- ・ 企業担当者は、理解の「ハブ」。
- ・ 社内の人に出演してもらう。
- ・ 役職/性別に関係なく参加！



コミュニケーションも「両輪」で



生理のある人



生理のない人



生理のある人

サポートされる側の心持ちが、**頼っていい！**と変わる

生理の問題は自力で解決するべきだと思っていたのでとても心強く感じました

思ったより、男性も女性のことを理解しようとしてくれていることがうれしかったです

男女ともに、きっかけさえあれば、どんどん考え方や社会が変わっていくのだと感じました。何でも気付いて行動することが大切ですね！新しい気付きをありがとうございます

生理のない人

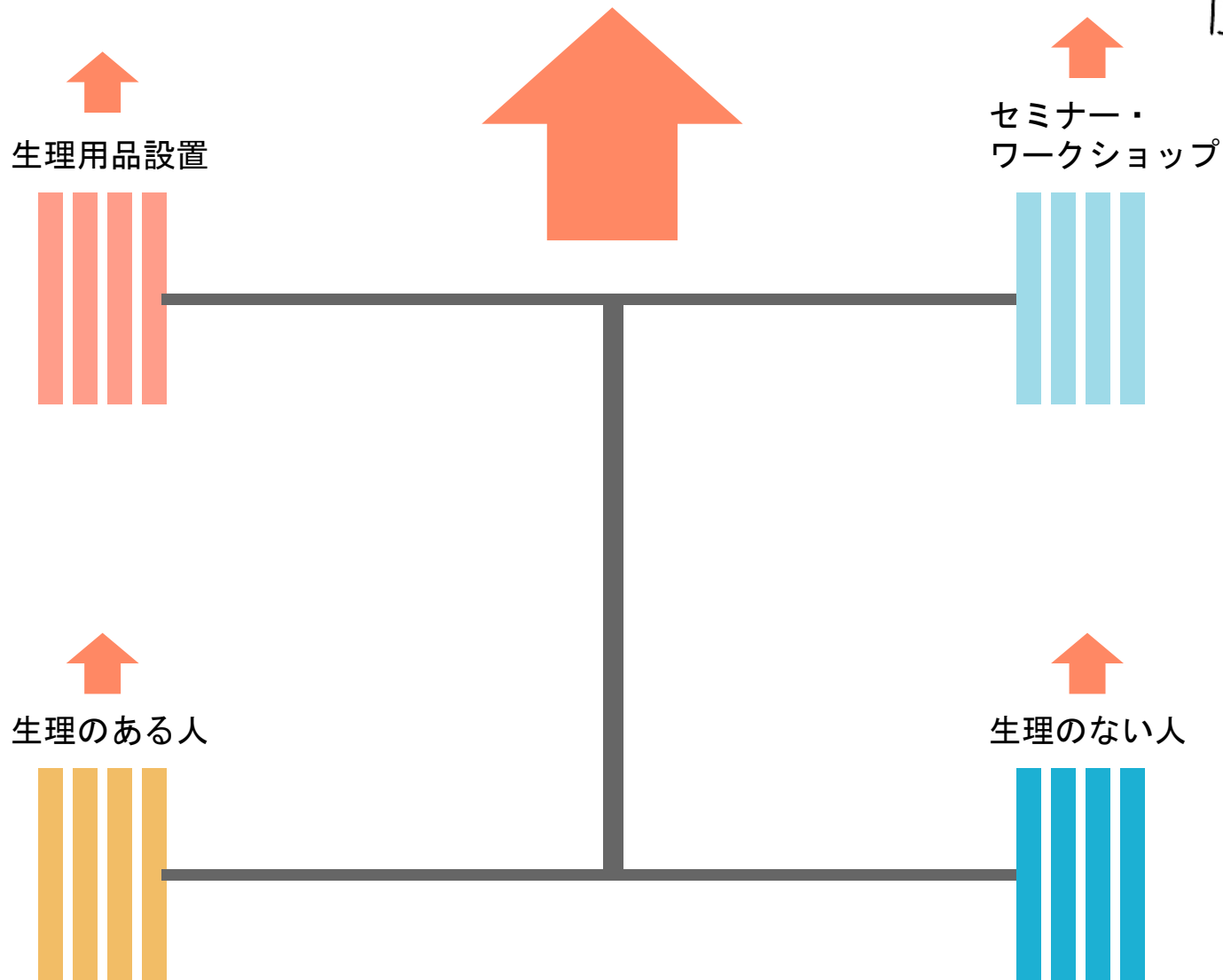
サポートする側の心持ちが、**もっとサポートしたい**と変わる

知る必要のないことだと考えていましたが、同僚の大変な時に十分なサポートができるように、より知識を得るべきと感じました

生理について男女どちらも考えることで環境が変わっていくことが新しい発見でした

男性でも生理に理解を示そうとしている人もいるなかで、それでもやっぱりコミュニケーションが難しいこと。何でも気兼ねなく、思っていることを伝えあうことのできる環境になるといいな、と思いました

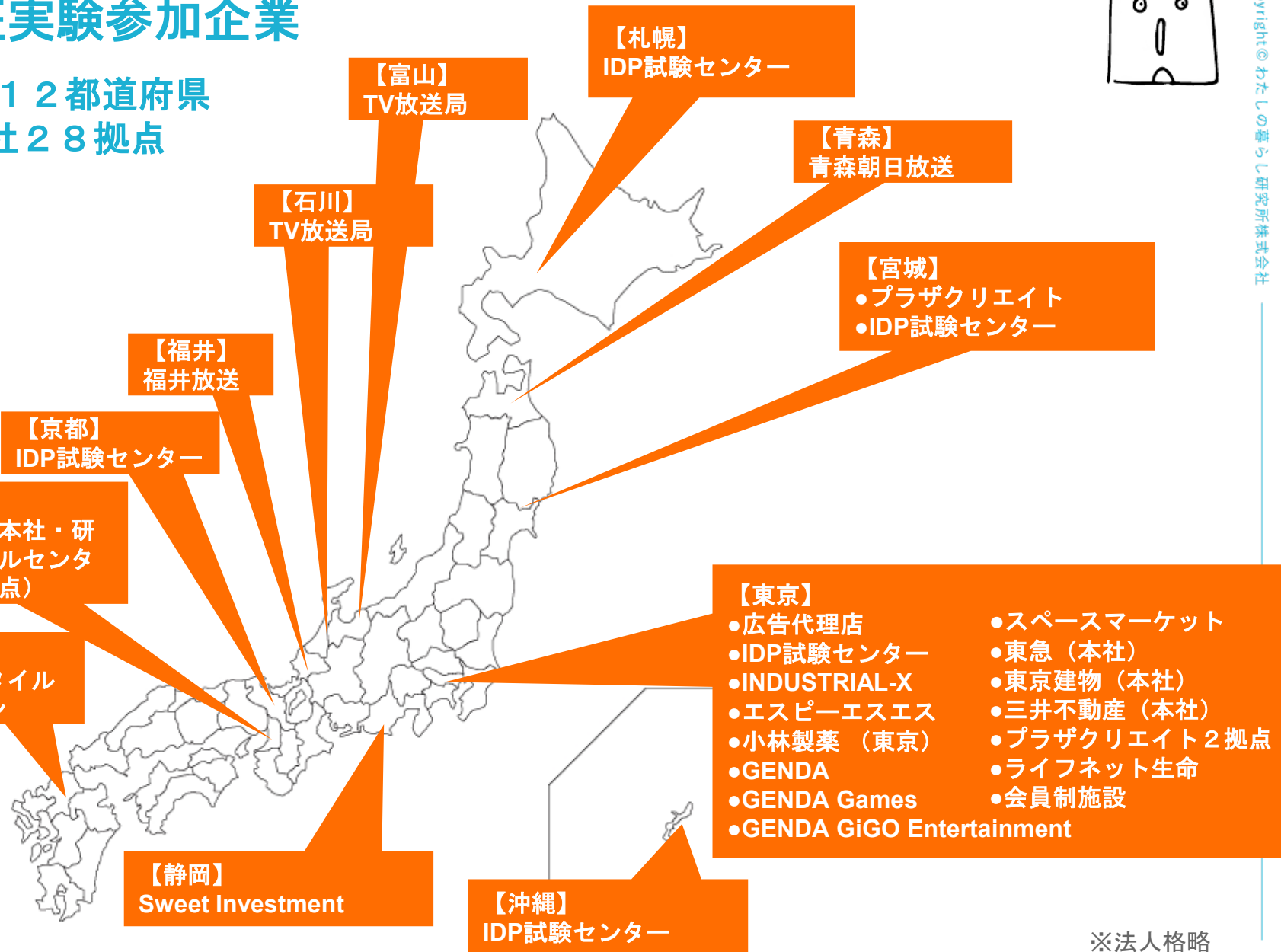
四輪が揃ってこそ、前に進む





実証実験参加企業

全国 12都道府県
21社28拠点



※法人格略



メディア掲載

▼日刊ゲンダイ週末特別版（紙面）：

- ・ 2023年 2月 6日週末特別版
「日本の女子トイレにはなぜ生理用品が置いていない？不便解消へ立ち上がった営業ウーマン」
- ・ 2023年 2月13日週末特別版
「職場のトイレに生理用品を置くだけで社員のヤル気は変わりますよ」

▼日刊ゲンダイDIGITAL：

- ・ 2023年 2月12日 コレ、私が考えました
「日本の女子トイレにはなぜ生理用品が置いていない？不便解消へ立ち上がった営業ウーマン」

関連プレスリリース

▼AMBL株式会社：

有志の女性社員が参加するfemtech部の発案で会社の女性トイレに誰でも無料で使える生理用品を設置

▼株式会社プラザクリエイト：

「プラザクリエイト、経済産業省の補助事業である
「生理用品設置をきっかけにしたコミュニケーションデザイン事業」における実証実験へ参加



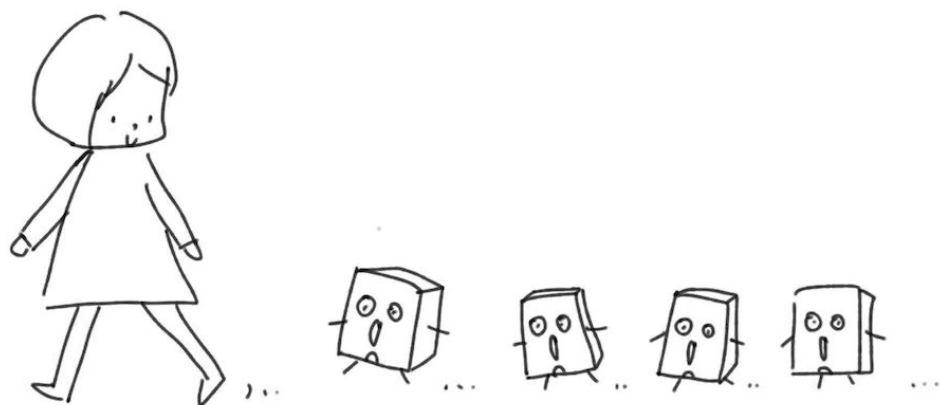
青少年教育

▼生理について話す「きっかけ」ツール制作

「こころとカラダのライフデザイン共創拠点」の北大プロジェクトチームと連携し、中学生くらいからを対象にした**絵本を制作**。対話を主軸に、お互いの身体のことをどうケアしていくかということに主眼が置かれており、**生理や身体のことを学校内や家庭内で話をする「きっかけ」**になることを目指している。

▼躯体の提供

道内の施設や学校教育の現場に塩ビケース「せりぽん」を提供するほか、生徒とともに理想の躯体を考えるワークショップを実施。





今後について

▼共催シンポジウム

実証実験企業と体験の振り返り会を実施。

日程：3月8日（木）

場所：日比谷BASE Q

主催：わたしの暮らし研究所

後援： JST COI-NEXT「こころとカラダのライフデザイン共創拠点」（代表機関：北海道大学）
JST COI-NEXT「デジタル駆動超資源循環参加型社会共創拠点」（代表機関：慶應義塾大学）

▼事例記事の公開

生理用品設置を行っている企業の**意思決定やスキームについて記事化し公開**。

▼「生理用品設置の提言書」作成

今回取得したデータを元に、生理がある方が社会生活をする上で必要な生理用品を設置設備を整える社会になるよう**提言書を作成**。同時に、各企業で誰に確認をしたらよいかなど、設置のフローをまとめたガイドブックも制作。

▼セミナー・ケースをより多くの場所で展開

セミナーで啓発活動を行う他、安価に生理用品がある生活を試せるツールとしてケースを提供。今後、担当者から問い合わせを受け、一緒に考えていくスキームを確立し、**地方自治体やより多くの企業を仲間として巻き込んでいく**。

「言いづらいこと」個人の悩みを社会みんなで考えましょう！
ご静聴ありがとうございました。



わたしの暮らし研究所

info@wk-k.com